



No.95
2022.10

いなみ町

議会だより

令和4年 第3回定例会等

議案審議	P2～P4	一般質問(6名が登壇) ...	P5～P10
委員会報告	P11	団体紹介	P12

中秋の名月(島田田んぼ)

8月8日に臨時議会を開会し、1件の議案を可決しました。

9月定例会は8日に開会。議案8件、報告1件、議案はすべて原案どおり可決しました。

また、令和3年度決算認定8件は、決算審査特別委員会に付託することを決定し、14日に閉会しました。

物価高騰対策印南町生活支援商品券

質疑 1世帯当たり5万円分の商品券を配布するというのですが、世帯で行う理由を説明してください。

答弁 企画産業課長

町内の9割の方々が5人までの世帯であり、高齢世帯が多いと推測しています。印南町を担って我々現役にバトンをタツ

ちして頂いた先人の労苦に感謝するという考えです。

質疑 配布予定日と利用期限を説明してください。

答弁 企画産業課長

10月上旬を予定しています。利用期限は来年の1月31日です。

質疑 従来の商品券と重複して利用する期間ができると思いますが、その配慮はありますか。

答弁 企画産業課長

商品券の色を変えるなどして、最大限その配慮をします。事業者に対しても事前に注意事項も含めて説明します。

物価高騰対策印南3店舗スタンプラリー事業支援補助金

質疑 事業について説明してください。

答弁 企画産業課長

商工会の事業としてこれまでも取り組んでいる事業で、抽選で当たる景品について610本を予定しています。

印南町PRグッズ製作費

質疑 詳細を説明してください。

答弁 企画産業課長

ゴルフの町、印南をPRするために、カックンとエルちゃんゴルフクラブのヘッドカバーを500個作ります。ゴルフ場での委託販売やふるさと納税の返礼品としての活用を考えています。

町道支障木除去等委託料

質疑 重点的に撤去を予定している地域はありますか。

答弁 企画産業課長

各地から要望はありますが、特に町道奈良井・白河線の企業団地につながる主要道路でトラックの運行に支障をきたしているとの声が多くなってきたっており、そういったところに対応していきます。

質疑 この委託料の原資となっているのは森林環境譲与税です。令和6年度から国民1人当たり1,000円の森林環境税がかかりますが、今後、森林環境譲与税を有効活用する方法を考えていますか。

答弁 企画産業課長

統合中学校の木質化等に財源をあてることを想定しており、そのための積み立てを行っています。

質疑 これまでの事業との違いを説明してください。

答弁 企画産業課長

これまででは、町有地から派生した支障木を除去してきましたが、今回は危険度が高い場合

は、個人所有の土地からの派生であつても緊急性を考慮して対応するというものです。

印南浜西公衆トイレ改修工事請負費

質疑 建設予定のトイレの概要と、現在公園内にあるトイレ及びその跡地はどうする予定ですか。

答弁 企画産業課長

建設予定のトイレは、延べ床面積36.8㎡で、鉄筋コンクリート造。男子トイレは小便器が2個、大便器が1個。女子トイレは大便器が2個、多目的トイレを1つ完備します。

現在あるトイレは老朽化が進んでいるので撤去します。撤去後は公園の一部として芝生等の植栽を予定しています。

質疑 撤去することのことですが、撤去費用も今回の予算に含まれているのですか

答弁 企画産業課長
撤去費用も含んでいます。

質疑 トイレの管理はどこがするのですか。

答弁 総務課長

地元や作業所等に委託する予定です。

みはらし峠駐車場整備工事請負費

質疑 工事の詳細を説明してください。

答弁 企画産業課長

場所は、フルーツライン山頂で、広さは60㎡。車用の駐車場が3台分、2輪車用が3台分です。

社会教育施設修繕料

質疑 一般財源で820万円とありますが、詳細を説明してください。

答弁 教育課長

旧真妻小学校の講堂を修繕します。町内に唯一存在している木造講堂で、昭和39年に建設されたもので、経年による老朽化が進行しています。壁板塗装やシロアリ対策等を行います。歴史ある建物なので、後世に残すために、修繕して保存する必要があります。

質疑 現時点での使用用途と修繕後の使用用途を説明してください。

答弁 教育課長

現在は倉庫（物置）として利用しています。今後については、地元の方や地元団体の集い、町内小中学校の林間学校、教育旅行受け入れの際の施設貸し出し等に使用しないか検討していきます。

質疑 この事業については補助金もなく、単費ですが、それでも行う理由は。

答弁 教育長

町内に唯一残っている木造講

堂ですので、保存していく必要があります。また、社会教育施設として自然体験等を行って、子供たちの活動が広がっていく施設にしていきたいです。

質疑 旧校舎もセットで修繕するということは考えていませんか。

答弁 教育課長

現在のところは、校舎については老朽化によって修繕が必要などころはないので、利活用方法等も含めて検討していきたいです。



議案に対する各議員の賛否

○=賛成 ×=反対

種類	議案番号	議案内容	黒	木	岡	谷	中	片	古	杉	玉	榎	前	堀
			井	村	本		島	山	川	置	本	田	口	
条例	47	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
	48	印南町議会議員及び印南町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
予算	46	令和4年度印南町一般会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—
	50	令和4年度印南町一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
	51	令和4年度印南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
	52	令和4年度印南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
	53	令和4年度印南町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
	54	令和4年度印南町滝ノ岡専用水道事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
他	49	工事請負契約について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
報告	3	令和3年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

●8月臨時議会…議案46

●9月定例議会…議案47～54、報告3

※議長は裁決に加わりません





大形防犯窓付き ドア(スリット) エレベーターに ついて

質問 日本に暮らす聴覚障害者は約35万人いるとの事です。

現在、手話奉仕員育成講座で手話を学ばせて頂いている過程で、災害時の懸念について、話を伺いました。

火事の場合、エレベーターは1階、地震の場合は最寄り階に止まる設計との事です。

しかし、必ずしもドアが開くとは限らないため、音声のアナウンスが流れたとしても、聴覚障害者には伝わりません。よって、庁舎等のエレベーターにスリットがあれば、外から手話で状況などを確認できます。

現在、基礎工事が始まっている(仮称)防災福祉センターに、そのような設計は考えていますか。

答弁 住民福祉課長

(仮称) 防災福祉センターは、延べ床面積が1,824.1㎡であり、条例において、スリットの設置は必須ではございません。液晶インジケータ、インターホン呼出しボタン応答灯を設置予定です。ガラス窓設置の仕様になっていませんので、今後、和歌山県福祉のまちづくり条例等を参考に検討したいと思えます。

質問 閉ざされた空間で、手話

で外の人と対話ができる事は、安心につながり、障壁を取り除いた環境作りができると思います。また、寝台車が入るエレベーターについても併せてご配慮をお願いします。

災害時フラッシュ について

質問 火事などで、逃げ遅れないようにする為に、災害時フ

ラッシュの設置等、消防法で定められた非常口だけでなく、受

付や見やすい所に設置されてはいかがですか。

答弁 住民福祉課長

(仮称) 防災福祉センターは、消防法施行令第21条における集会場として自動火災報知設備の設置が義務づけられており、和歌山県福祉のまちづくり条例で、点滅機能及び音声誘導機能を備えた避難口誘導灯を設ける事、そして、26条で、建物の床面積により誘導灯の基準が定められております。同センターでは、B級避難口誘導灯で、音声、点滅対応の機種を全館で6基設置予定です。条例等を参考に、更に検討したいと思

質問 煙などで前が見えづらい

状況でも、災害時における避難誘導の手段として、光走行式誘導装置や、安価で導入可能なフラッシュ器具の検討をお願い致します。

最後に、手話の普及に関する施策として、印南町手話言語条例が4年前に施行されました。

印南町も講習会などを年に数回開いて頂ける事を熱望します。様々な属性を持つ人々が共生でき、よりインクルーシブで合理的配慮ができる社会づくり、そして、町民一人の犠牲者も出さない、出させないためにも、ご検討のほどお願い致します。





ここが聞きたい!

岡本 庄三 議員

未来投資事業及び若者定住施策について

質問 課長は6月議会において

印南町における宅地の分譲価格は、坪7万円から8万円が妥当であるような答弁をされました。また、行政が宅地造成事業を実施した場合の分譲単価は7万円、8万円を超えることが事業を断念した理由であると説明し、今後は未来投資事業を実施することにより民間事業者等による宅地の確保を町の方針とする旨、明言されました。

答弁 企画産業課長
そこでお聞きします。未来投資事業を実施した地区内で民間事業者が分譲した宅地の分譲価格は把握されていますか。

答弁 企画産業課長
個人間の取引については、聞くところによりますと、印南地区では坪10万円程度、民間事業者による分譲については、坪10万円から14万円程度で売買が

あったとの情報です。

質問 印南町において民間業者が販売する宅地の分譲価格はいくらぐらいが妥当であると考えていますか。印南地区内の高台の宅地と仮定して答弁をお願いします。私は民間事業者が分譲した場合、印南地区内の高台では分譲価格が相当高い設定になり、購入できる方は限定されてしまうのではないかと思います。やはり、印南地区内においては、行政が主導して宅地造成事業を実施する必要があると思います。いかがですか。

答弁 企画産業課長
10万円、あるいは10万円を切る、そういう坪単価での売買をしていただきたい。より安価な購入価格を設定していただきたいという思いです。

質問 現在、上野山で道路整備が進められています。併せて未来投資事業による水道管等の整備もされます。本来ならば個人や事業者が整備しなければならぬインフラを公費で整備しま

す。将来優良宅地となる農地の価値は当然上がります。また、国民の取引では営利原理が加わり、結果、分譲価格が高くなります。せっかく、公費により宅地化を促進したのに、一般庶民には手の届きにくい、限られた方々だけがその恩恵にあずかることとなります。

国民のことなので、口出しするのはということなのですけれども、未来投資事業や道路整備に公費をつぎ込んでいくわけですから、ある一定の口出しは必要だと私は思うわけなのですけれども、いかがですか。

答弁 企画産業課長

もちろん未来投資事業によって、これまで狭かった道路の拡幅が可能になる。そしてまた、水道管の敷設によって宅地化が進められるということに対する行政の思いというのは、当然安価な金額をもって取引をしてほしいということです。



ここが聞きたい!



前田 憲男 議員

国道425号の 草刈り作業につ いて

質問 お盆過ぎから425号真妻地内の草刈り作業が業者によって行われていました。

それまでは、カードレールが見えないくらいに草が生い茂っていたところや歩道一面にカズラが伸びていたようなところも、大変きれいになっておりました。

しかし、ここ3年ほどは、切目川ダムまででストップしてしまい、それ以降の上洞、川又地区においては業者による草刈り作業が行われていません。

そのたびに、地域の方からは、区長さんや私のところに、どうしてやってくれないのか、一本の国道なのになぜ一部の地域を残すのかという苦情が寄せられます。

地域の方がボランティアで草刈りをされている部分もありますが他人の敷地や田畑に草が落

ち込んでしまうようなところや刈り取った草を持ち出さなければならぬようなところは、手を付ける方もおられないようです。

県の方針ということですがどうして一部の地域だけを残すのでしょうか。

答弁 建設課長

この件につきましては、県も把握しているところではあります。が、限られた予算の中で県が管理する道路のすべてを発注で賄っていくのは、不可能ということでありました。

またこの地域については道路改良時に、防草シート等の設置もされ、通行の支障となる雑草も他と比べ比較的少ない箇所であり、建設部機動グループで草刈り作業を実施している箇所であるとのことでした。

質問 入札の範囲、作業回数、落札価格、総延長など分かれば教えてください。

答弁 建設課長

印南町内に県が管理する道路

の総延長は、約74・8キロで、そのうちの47・5キロが草刈り工事発注分です。

国道425号においては、南谷地区から切目川ダムまでの16キロとなっております。作業は、お盆前後と秋の年2回となっております。

作業の単価は、1㎡当たり300円程度ということで町内全域での落札価格は、1,000万円程度ということでした。

質問 地域によっては、草刈り作業は、自分たちの手で行いたいというような声もあります。

仮にこのようなことは、可能なのか、また県からは、何らかの補助があるのでしょうか。

答弁 建設課長

行政のみの力ですべての道路の管理をしていくことは、難しく地域の皆様の協力を得ながら管理をしていくことが望ましいと考えます。

「わかやま道路パートナー制度」等の活用を検討していただければと思います。





ここが聞きたい!

榎本 一平 議員

豪雨災害に備える町の構えと対策の取組は

質問 最近の自然災害は激甚化が大問題になっています。

避難情報の内容は令和3年5月に見直しが行われました。

このように見直しがされた避難情報のもとで訓練の実践は行いましたか。

答弁 総務課長

自主防災会へ出向き警戒レベルの確認や役場ホームページからアクセスできる気象庁の情報収集の見方など啓発しています。

質問 コロナ感染拡大の下で災害発生をした時の対応という新たな課題があります。避難所でのコロナ感染症対策は国が「避難所運営のポイント」を10項目にまとめ説明しています。

感染防止の基本として町としては、用意されていますか。

答弁 住民福祉課長

備蓄倉庫8か所にマスク10万枚、消毒液300本、非接触式体温計10台は庁舎や防災センターに備蓄しています。

統一協会の認識を問う

質問 統一協会は靈感商法など

社会的被害を与えてきた反社会的カルト集団であり、政党や政治家とのかかわりを深めています。和歌山県下にも統一協会があります。町長は統一協会に対してどのような認識を持っていますか。

答弁 町長

過去から現在に至るまで多額の献金問題、靈感商法など多数のトラブルが深刻な社会問題になっている団体であると認識しています。

質問 統一協会はいろいろな

DMJ団体を作り、行政などに近づいてきます。印南町は統一協会の行事への後援や協賛、メッセージ

などを送る等の対応はこれまでにありませんでしたか。

答弁 副町長

議員からいただいた「靈感商法対策弁護士連絡会」の統一協会関連団体リスト76団体をもとに調査を行いました。が、行事などにかかわっている、という事実はありません。

コロナ感染拡大防止の検査体制の改善を

質問 PCRや抗原簡易検査所は、御坊・日高地方には御坊市内

の薬局に6か所、美浜町の薬局に1か所ありますが、日曜日はありません。また、検査する時間の終了が早く、働いている方には検査が受けられない状況です。誰でも気軽に安心して検査を受けられる様に県に改善を求めています。

答弁 住民福祉課長

保健所を通じて検査体制の改善を求める意見があったと伝えていきたいです。



ここが聞きたい!



谷 章資 議員

ふるさと納税について

質問 3月議会に引き続きふるさと納税について質問します。令和4年度になって現在までのふるさと納税の寄付額はいくらですか。昨年度と比較して答弁ください。また昨年度、印南町民から他の自治体へのふるさと納税の寄付額はいくらですか。

答弁 企画産業課長
令和3年8月末時点は、件数で1,134件、1,013万1000円でした。本年8月末時点で、2,848件、2,028万4000円と倍増しています。また、昨年度の印南町民から他の自治体へのふるさと納税額は、2,087万円余です。

質問 ふるさと納税は、年末に向かつて寄付額が増えていくと予想されますが、もっとサイトを増やした方が良いのではないですか。

質問 ふるさと納税は、年末に向かつて寄付額が増えていくと予想されますが、もっとサイトを増やした方が良いのではないですか。

答弁 企画産業課長

ポータルサイトを増やし、納税額を増やしてはどうか、というご質問ですが、本町のエントリーしているポータルサイトは、全国のシェアを多くつかんでいるポータルサイトです。サイトを増やしても寄付額が増えるという状況にはないと認識しています。年末に向けて11月、12月の寄付が活発化されると見込まれますので、予算計上している1億円をクリアしたいと考えています。

年末に向かつて、複数あった中間事業者の適性化を6月に行い業務の効率化を図りました。11月には返礼品用のパンフレットの発行を行い、全国展開しているふるさと納税専門雑誌「ふるさと納税ニッポン」への掲載や返礼品の取り扱い事業者についても随時登録を行っているところで

質問 8月現在で昨年度と比較して倍増しているとのことですが、近隣市町と比べて伸び悩んでいるのではないかと感じます。そもそも目標額が低いのではないかと考えますがどのようにお考

えですか。

答弁 企画産業課長

昨年度と8月末までの比較になりますが倍増しています。ご指摘いただき新たな取組展開もしております。

質問 近隣市町と競争する必要はありませんが、身近な目標としてさらなる高みを目指し鋭意ご尽力いただきたいと思えます。

答弁 企画産業課長

3月議会では、10億円の実績のある近隣市町もあるので、そこを目指したいとお答えいたしました。他の自治体と競争するわけではありませんが、他の自治体とは違うやり方でトライして参りたい



いと考えております。そういう取組を継続的に進め、やがては他の自治体にも負けない住民の皆様方からも支持されるよう努力して参りたいと思えます。



ここが聞きたい!

古川 眞 議員

地籍調査について

質問 町の地籍調査はいつ頃完了しますか。

答弁 建設課長

調査開始当時の計画では令和15年度の完了予定でしたが、現在は令和6年度末の一筆地調査完了を目標にしています。

質問 島田区の紀ノ郷には多数の県外者の住居があります。中には、持ち主の世代が代わっている住居もあります。地籍調査が遅くなれば筆界未定が増えるのではないかと心配しています。町はどのように考えますか。

答弁 建設課長

紀ノ郷のような別荘地の場合、開発当時や土地売買の測量図が法務局に残っていることが多く、境界に関しては確認のみで済みますが、懸念されるのは、相続登記や住所移転登記がされていないことにより所有者の所在

が不明となり、不立会による筆界未定が生じることが考えられます。

質問 紀ノ郷の地籍調査完了はいつ頃を予定していますか。

答弁 建設課長

紀ノ郷などの別荘用地は最終年度(令和6年度末)になる計画です。

避難センターについて

質問 島田区内の高台に避難センターがあれば安心ですが、町はどのように考えますか。

答弁 総務課長

現在、島田区内の町指定避難所は2か所あります。また、大規模災害時には災害協定を結んでいる弘龍庵が町の指定避難場所になります。

これらのことから考えると、避難困難地域の解消を優先的に進め、避難センターの建設は今後の

検討課題と考えています。

質問 島田地区に2か所という話がありました。どこですか。

答弁 総務課長

次の2か所です。
・島田集会所
・崎山漁村センター

防潮林の管理について

質問 切目橋かどや間の防潮林について質問します。この防潮林は県の管理ですか。

答弁 企画産業課長

切目大橋からマリンプーク大橋間は町の管理、マリンプーク大橋からかどや間は県の管理です。

質問 JA集荷場からの排水路が雑草にうもれてしまい、草刈りをするときに業者が側溝に落ちることがあります。事故につながる可能性があるため、県に側溝整備の要望が必要と思います。町はどのように考えますか。

答弁 企画産業課長

側溝整備は、県への要望も含め、その必要性を検討したいと思います。



委員会活動報告

総務産建常任委員会報告

◎木村 栄一 玉置 克彦
◎岡本 庄三 片山 智文

谷 章資
堀口 晴生

◎委員長
◎副委員長

今回、総務産建常任委員会では「防災について」をテーマに2か所の視察研修を行い、総務課と建設課から説明を受けました。

【日時】

令和4年8月25日(木)

【視察場所】

地方地区の排水ポンプ場、町道上野山線道路改良事業現場

〈説明員〉

総務課長	藁科 昌章
同 主査	坂口 貴志
建設課長	片山 盛夫
同 主幹	尼田 賢治

排水ポンプは今年6月に印南地内、町商工会館側の水路に設置されたもので、ゲリラ豪雨などの際、水路の排水能力が追いつかず、印南地内の地方、宇杉両地区や切目地内の島田地区で内水被害が発生。未然に被害を防ぐため平成26年に可搬式の防災排水ポンプ4台を購入しました。町職員の防災排水ポンプ操作班と地元水防団と連携しながら排水作業にあたっていました。しかし、荒天時の設置作業は危険が伴うほか、予想外の降雨への迅速な対応が課題となっていたことから、県の協力で取り組んでいた法面の舗装や安全柵設置など改修工事完了に伴い、町建設業協会（杉本憲昭会長）から寄贈を受けた1基と、町が購入した1基を据え付けた経緯を聞き、現場を視察しました。排水能力は2基で毎分11³mの排水量で、これまでの可搬式ポンプ（毎分10³m）を上回るこ

とから、これまでよりは、安全面と効果に期待がもてると感じました。

次に、南海トラフ巨大地震の津波に備え住宅の高台移転、宅地確保を目的に取り組んでいる町道上野山線道路改良事業の現場を訪れました。町道が通る印南地内にある上野山は海拔30m近くあり、避難場所となる印南避難センターもある高台エリアです。周辺の一部が宅地化され、住宅が建設されていますが、道路沿い周辺は農地も多く、道路整備を進めることで宅地化を促そうと令和2年度から改良事業に着手。延長1.1kmの町道を幅員約4mから車道7mに拡幅するとともに2mの歩道も設けます。総事業費は概算で約7億円、令和6年度中の完成を目指しているとのことでした。

今後も、地域からの防災面での要望や意見を聞きながら、「一人の犠牲者も出さない」取組を進めていけるようにしていく決意です。



印南町文化協会・サークルの会

頭の活性 創作クラブ



サークル長 上山千重子
 世話人 岡崎富美子
 指導講師 坂下 緋美

三年目のコロナ禍、身体の動きも少なく、頭も使わなくなり勝ちな日々の中、打開策の一つになるのかなと、この「頭の活性・創作クラブ」がスタートしました。

第一の目的は頭の活性化です。高齢化時代に埋没しないよう、「一日一笑」の心構えで、まずは、簡単なことから、小空きビン使用の地藏さんや、ペットボトルこけし雛、和紙のちぎり絵等々、毎回、手順の違うものに挑戦し、前頭葉を刺激していきます。一見、不出来に見える作品が、個性が生きて、ほのぼのと笑顔を誘う。上手より、そんな味のある作品作りを目指しています。

毎回、違うものに挑戦するため、カリキュラムを組んでいます。



現在、初心コースの三講目ですが、今は、失敗が多いのですが、それを楽しんで笑いに変えてしまっています。まだ、スタートしたばかり、秋の文化祭に、ほのぼのの作品を展示できるように、気楽に取り組んでいますのでよろしく願います。

指導の基本は、「毎回、脳に何か新しい刺激を！」で、写真の「一日一笑・やんちゃベイビー」（高さ12cm）の表情のように、笑ってもらえればと思います。（坂下）



※一日一笑・やんちゃベイビーが、クラブのイメージキャラクターです。

先生の楽しいアイデアに、毎回刺激をもらっています。（上山、岡崎）

掲載団体募集のお知らせ

裏表紙で紹介する町内の団体を募集しています。掲載を希望する団体は広報特別委員会までご連絡をお願いします。

議会広報特別委員会

- 委員長 前田 憲男
- 副委員長 中島 洋
- 委員 黒井 美晴 / 谷 章資 / 片山 智文 / 古川 眞